

JICA 草の根技術協力事業

「女性教師養成制度の構築を旨とするプロジェクト」

(2016.10 ~ 2019.9)

事務局長 岩谷 栄子

10月19日、ネパール・ポカラで、さくら寮開設10周年記念イベントを実施しました。70余名のさくら寮卒業生が参集し、今までご支援いただいたKCPの先生方、教育行政関係の方々等をお招きし、感謝の意を込め、10年の節目を祝うことができました。いよいよこれから、さくら寮卒業生が、今までの成果を広く発揮する時が来たのです。まさに、啐啄同時、これから3年間、JICAの支援を受けて、教師の赴任地、およびパイロット校・地域を対象とした授業と学校運営法の公開を行っていくことになりました

1. 事業実施の目的

この公開授業には、各地域の学校長・学校運営委員会・DEO (District Education Officer) などに参加してもらい、体感することで、さくら寮モデルの必要性を理解していただくことを、事業実施目的としています。また、さくら寮モデルによる優秀な女性教師の養成を、ネパール教育省が教育施策の中に位置づけてくださることを究極の目標としています。

2. 対象地域

さくら寮卒業生の赴任地を中心に、モデル校として、ダーディン郡、カピルバストゥ郡、カスキ郡を選定。

3. 事業の活動内容、活動計画とその方法

1.豊かな人間性を育む指導方法（学級経営・楽しく学ぶ・情操教育・表現教育・防災教育・保健体育教育・チャウパディ根絶）を、さくら寮生およびさくら寮卒業生教師が理解する。

1-1.さくら寮での学級経営および教科指導・情操教育・表現教育・防災教育・保健体育教育〔チャウパディ根絶〕を実施する。(2016/10,1-2、2017/5-6)

1-2.さくら寮での卒業生教師へのフォローアップ研修および教師生活の体験報告、課題解決への取組を発表する。(2106/10,2017/10,2018/10)

1-3.さくら寮卒業生が、日本留学をし、日本での教育の研修を深め、ネパールへその経験を広める。(2016/9 ~ 2017/8)

2.パイロット校でさくら寮の教育成果を公開し、教育関係者の理解を得た上で、その手法を他校へ技術移転する。

2-1.さくら寮卒業生教師の赴任校を訪問し、地域の教育関係者に、モデル授業を公開する。(2016/10,2017/1-3,5-6,8-12,2018/1-2,8-12,2019/1-2)

2-2.パイロット校において、さくら寮モデルの授業を実践する。(2016/10,2017/1-3,5-6,8-12,2018/1-2,8-12,2019/1-2)

2-3.地域の他校教師および教育関係者等を対象に、パイロット校でモデル授業を公開する。(2016/10,2017/1-3,5-6,8-12,2018/1-2,8-12,2019/1-2)

3.パイロット校での教育を通し、さくら寮モデルの女性教師養成制度構築の有用性を地域の教育行政担当者に認識していただく。

3-1.DEOへさくら寮プロジェクトを紹介し、パイロット校でのモデル授業を通して、その有用性を理解していただく。(2017/5,8-12,2018/1-2,8-12,2019/1-2)

3-2.ポカラ・プロジェクト10年間の成果を発表する記念式典・研究集会を開催し、日本・ネパールの教育関係者および支援者に成果を発表し、周知を図る。

(2017/1-2,201/5,8,2018/5,8,2019/5,8)

4. 活動に際して留意していること

日本からの教育専門委員、述べ33名の派遣を予定していますが、長期滞在は困難ですので、現地業務補助

員として、寮母のマンジュさんと、クリシュナ・カティワダ氏を依頼します。また、さくら寮卒業生教員には 随時できるだけ多く、学校訪問をしてもらうよう心がけています。

また、心強いのは、今まで10年来JNFEAの現地マネージャーとして、我々を支援してくれていた、クリシュナ・カティワダ氏が代表を務めるNPO法人YOUCASP (Youth Campaign for Social Progress Nepal) とパートナーを組んで取り組んでいくことになりました。

今後も温かいご支援をお願い申し上げます。